

富士通製 基幹サーバ「PRIMEQUEST」と ATEN KVM ドロワー CL5808/CL5816 の接続検証結果報告書

ATEN ジャパン 営業技術課

1. 検証目的

PRIMEQUEST 3800E2 と ATEN KVM ドロワーシリーズとの組合せによる動作検証を実施致しました。

2. 検証期間

2022 年 7 月 21 日および 2022 年 7 月 26 日



3. 検証装置

| 型番 | 製品概要 |
|--------------------|---|
| CL5808 *検証実機 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ デュアルスライド対応 19 インチ LCD 一体型 8 ポート KVM ドロワー ➤ デイジーチェーン接続対応 - KVM スイッチの追加増設は最大 31 台まで、接続可能コンピューターは最大 256 台まで対応 ➤ デュアルインターフェース - コンピューターは、PS/2、USB の両インターフェースに対応 |
| CL5816 *同一ボード製品 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ デュアルスライド対応 19 インチ LCD 一体型 8 ポート KVM ドロワー ➤ デイジーチェーン接続対応 - KVM スイッチの追加増設は最大 31 台まで、接続可能コンピューターは最大 512 台まで対応 ➤ デュアルインターフェース - コンピューターは、PS/2、USB の両インターフェースに対応 |

4. サーバ構成

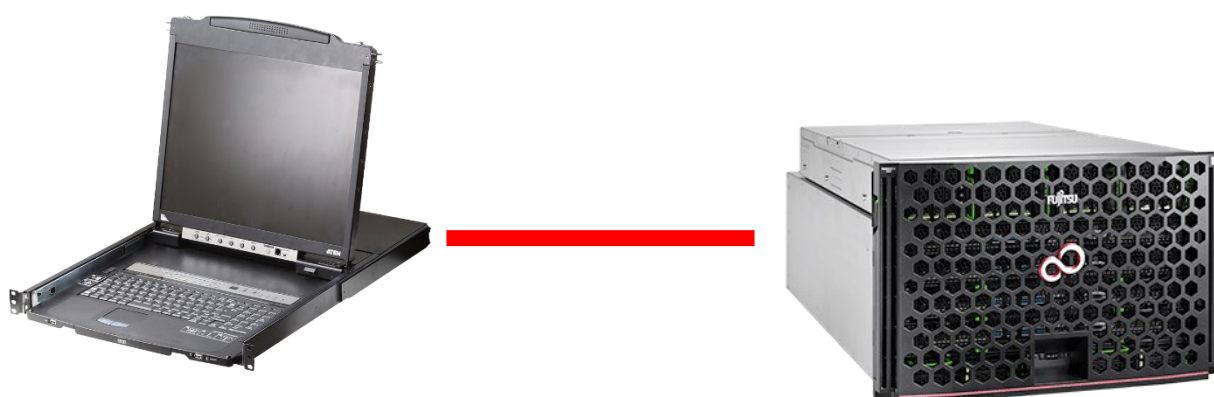
| 型番 | OS Ver. |
|-------------------|--|
| PRIMEQUEST 3800E2 | Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Standard RedHat Enterprise Linux v.7.9 RedHat Enterprise Linux v.8.3 |

5. 検証項目および結果

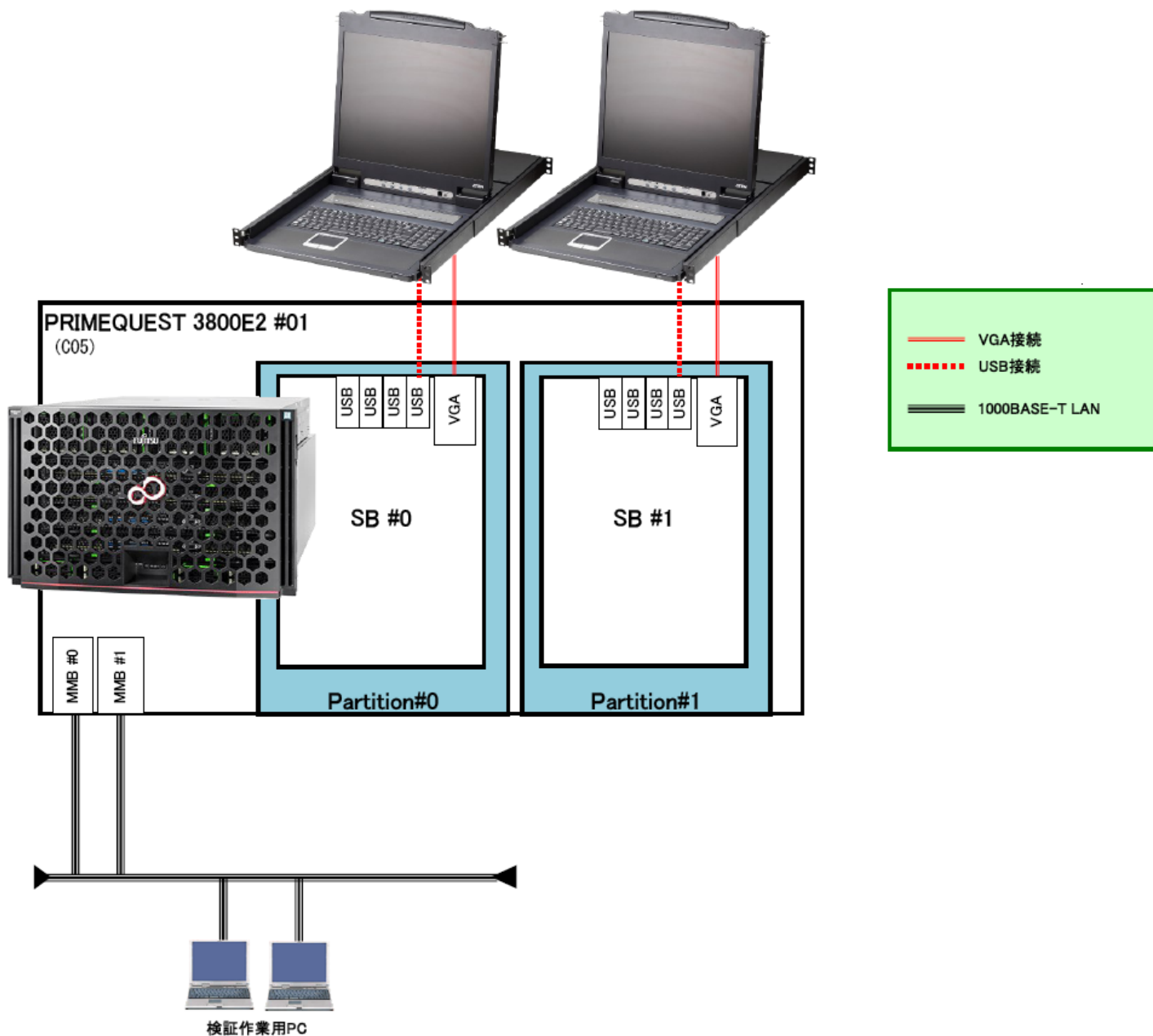
| 項目 | 概要 | 結果 |
|---------------------------|--|--------------------|
| A) ホットスタート、リブート、それぞれの動作確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホットスタート： サーバ側に接続されている全てのケーブル類は接続されたまま、シャットダウン後に電源 ON にする。 ・リブート： サーバ側に対して、リブート動作を実行する。 | 各 OS Ver.にて正常動作を確認 |
| B) ドロワー側日本語キーボードの動作確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・OS 側キーボード認識を確認する。 ・テキストエディタを起動し、各キーを押下し実際に入力される文字とキーマップが正しいことを確認する。 *ドロワー側が送信するキーコードが正しいことは確認済み | 各 OS Ver.にて正常動作を確認 |
| C) ドロワー側タッチパットの動作確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・OS 側マウス認識を確認する。 ・四隅と中央部分へのポインター動きと左クリック右クリックの各動作を確認する。 | 各 OS Ver.にて正常動作を確認 |
| D) LCD 画面の表示 | <ul style="list-style-type: none"> ・OS 側ディスプレイ認識を確認する。 ・OS 側と KVM ドロワの双方が共通しサポートする各解像度の表示を確認する。 | 各 OS Ver.にて正常動作を確認 |
| E) KVM 切替え動作確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・1 台のサーバと 1 台の PC を接続し、切替え動作を確認する。 ・切替え後の画面表示とキーボード/マウスの入力を確認する。 | 各 OS Ver.にて正常動作を確認 |

6. 接続方法

ドロワーとサーバ間は専用 KVM ケーブル(2L-5302UP)を使用



シャットダウン後の起動時のみ MMB を利用し、
ネットワーク経由の他 PC より電源 ON 操作



本検証内容に対する問い合わせ先：

ATEN ジャパン株式会社

東日本営業部 営業技術課 Tel:03-3255-5810 Mail:ajpresales@atenjapan.jp

西日本営業部 営業技術課 Tel:06-6229-5810 Mail:ajpresales@atenjapan.jp

※補足資料

